

## 「正常性バイアス」と「同調性バイアス」

「正常性バイアス」と「同調性バイアス」。知らない人も多いでしょう。先生も東日本大震災（2011年3月11日）が起こったときに知りました。新型コロナウイルスの感染拡大で思い出した用語で、今後、みなさんが感染を予防しながら学校生活を送っていくうえで、ぜひ知っておくといいのではないかと考え、「人間の災害時の心理」について紹介してみたいと思います。

### 正常性バイアス

心理学に「正常性バイアス」という用語があります。「正常化の偏見」「恒常性バイアス」と呼ばれることもあります。この「正常性バイアス」は、世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大していることで、その働きが強くなっているのかもしれません。

人間の心というのはとてもデリケートな一方で、鈍感につくられています。というのも、生きていけば予期しないできごとがたくさん遭遇します。ただ、その予期せぬできごとに遭遇するたびに反応をしていると、心が疲れてしまいます。そういったストレスを回避するために、心を正常に保つための働きが「正常性バイアス」です。「正常性バイアス」によってストレスが軽減されることもあります。この「正常性バイアス」が災害時などに悪い方向へ働いてしまうこともあります。予期せぬタイミングで命が危険な状態に陥（おちい）っているのに、心が正常に保たれてしまって危機回避ができなくなってしまうといったことが起こるのです。

災害時の逃げ遅れは、この「正常性バイアス」によるところが大きいといわれています。東日本大震災では、津波避難をめぐる課題として「警報が出ていることを知りながら避難しない人たちがいる」ことが指摘されていました。実際に、地震発生直後のビッグデータによる人々の動線解析で、ある地域では地震直後にほとんど人の動きがなく、多くの人々が実際に津波を目撃してから初めて避難行動に移りました。その結果、避難に遅れが生じたことが解明されました。例えば、海岸から5キロメートル離れた石巻市立大川小学校で、生徒74名と教師10名およびスクールバスの運転手が、避難先の決定を誤るなどして河川を遡上（そじょう）してきた津波に飲み込まれて死亡したケースがあります。「正常性バイアス」による根拠のない楽観的な思考が対応を遅らせた可能性がある」と指摘されています。

新型コロナウイルスの感染拡大は、この「正常性バイアス」による危機感の欠如というものが招いたともいえるかもしれません。今年の1・2月は、多くの人々が「自分は大丈夫」「自分には関係ない」と思っていたことでしょう。人々が自分にとって都合の悪い情報を無視し、過小評価してしまった結果が現状であるという認識をもっておいたほうがよいのかもしれません。

しかし、「正常性バイアス」そのものが悪いというわけではありません。「正常性バイアス」は人間にとって必要なもので、災害時などに悪い方向へ働くこともあるというだけの話です。「正常性バイアス」が悪い方向へ働いてしまうのを防ぐために必要なのは、「訓練」と「想像力」です。火災や地震などの自然災害に関しては、やはり日頃から「訓練」をしておくことで非常時にも状況を正確に把握し、きちんと動けるようになります。新型コロナウイルスの感染に関しては、「訓練」というよりも「想像力」の問題です。「この状況で、のんきに旅行をしていたら感染する可能性がある」というあたりまえの「想像力」を働かせることがとても大切です。

## 同調性バイアス

「同調バイアス」「多数派同調バイアス」「集団同調性バイアス」と呼ばれることもあります。これは「周りの人と同じ行動をとる」ことが安全と考える心の働きです。特に、日本人はこの働きが強いのかもかもしれません。

「同調性バイアス」に関しては、いくつも実験されていますが、本来であれば迷うことなく逃げるべき状況でも「周りの人が逃げない」から「自分も逃げない」という選択をする人が圧倒的に多いのです。火災で煙が充満しているのに「周りの人が逃げない」からとおとなしくその場で待機し、結果的に死者が増えてしまうというケースもあります。

新型コロナウイルスの感染拡大も一部の人が娯楽施設に集まったり、旅行に行ったりして「みんながしているから大丈夫」という「同調性バイアス」が働いた結果であるのかもかもしれません。災害時などでは、「正常性バイアス」と「同調性バイアス」によって正常な判断ができなくなってしまうというケースがとても多いといわれています。

「正常性バイアス」と同じように、「同調性バイアス」もそのものが悪いというわけではありません。現に「同調性バイアス」は、災害など非常時に一致団結して助け合うということにもつながっています。ここでも「想像力」が求められると思うので、日頃から「想像力」をしっかりと働かせて「同調性バイアス」で悪い方向へと進まないようにしていきたいですね。

## 2年生のみなさんへ

毎日の学校生活で、みなさんに先生たちが感染予防について多くのことを伝えています。マスクを正しく着用することや石けんを使用し、ていねいに手洗いすることなど、日々、声をかけています。ストレスを感じている人もいるかも知れません。しかし、先生たちはみなさんが安心・安全に生活できるように考えて行動しています。みなさんにお願いすることばかりですが、一日でも早く通常の生活が送れることを期待し、みなさんと先生たちで力を合わせて生活していきましょう。

職場体験学習が中止になり、残念に感じている人もいると思います。行事についても、安心・安全に行えるよう、日々、検討を続けています。みなさんが羽田中学校の2年生でよかったと感じることができるように、少しでもよりよく行事を実施できる方法を考えていきます。

「未来でみんなが笑って過ごせるように・・・」